友愛
発行所 友愛青年同志会
東京都文京区音羽町7の10 電話大塚(941)2801
編集兼発行人 宮田 晴
定価 1部10円

入会申込は支部または本部までハガキで一報下さい
東京都文京区音羽七ノ一〇 友愛青年同志会

一年の成果を全国大会へ！

第九回全国大会も、あと二十五日後に迫り、各支部ではいよいよその準備に忙殺されていることであろう。本部の常任幹事会も、大会準備委員会と密接な連絡を保ちながら大会準備に拍車をかけている。

今次大会に提出される本部側の議案の主なものは、その概要を本紙に発表したので、全会員が第九回全国大会の内容をおおよそながらも把握できることであろう。これによって、各支部は早急に役員会、総会等の然るべき会議を開き、各会員の提出する議案の参考に供すると共に、昭和三十六年度の反省と昭和三十七年度の方針についての考え方をまとめてもらいたいものである。大会当日は、各代表がその結果を持ち寄って討論し、益々発展途上にある本会を更に一段と充実飛躍させるための源動力になることを願う。

お互に日々自分と思いを同じくするものが、目的達成のためにささやかなものであるかもしれないが立派な事業、立派な活動を続け、その成果を自己の最大の誇りとして毎年五月に開催される全国大会に集い来たることを知って、全国大会に臨む前にもう一度自分達の過去一年間を振り返りその成果をまとめてみようではないか。

全国の同志諸君、実り多かった昭和三十六年度の成果を〝第九回全国大会〟に報告し、一層の発展を期して昭和三十七年度の活動に突き進もうではないか。

【写真は羽田空港で出迎えの人々に元気に応える使節団員】

友愛国際 使節団元気で帰国
各国と盛んな交歓をして

全国会員の要望をになって、東南アジア六ヵ国訪問をしていた友愛国際使節団の一行十六名は、去る三月一八日午後十一時二十五分羽田空港着のスカンデナビア機で無事帰国した。当日は、本会関係者を始め団員の家族等約百名が羽田空港に出迎え、深夜の空港ビルは友愛の旗と日の丸が林立した。

一行の搭乗したスカンデナビア機は予定の十時五分着より一時間二十分遅れて十一時二十五分に到着するとの連絡があり、東京駅に集合した五十名の出迎えの人々は帰りの電車を心配しながら羽田空港へ向かった。空港では個々に出迎えに来た人々も加え約百名が、各々関係団員の噂話に花を咲かせながら到着までの時間を待った。

午後十一時二十五分、深夜の羽田空港に大カンデナビア機が雄姿をみせ、使節団員は会員一元に姿をあらわし、ゲートに出迎えた人々に笑顔で手を振って応えた。午前〇時五分税関の手続きを終えた一行は帰国した安心感を顔面にうかべてロビーに姿をあらわし、肉親、友人との再会を心から喜びあい、時間が非常に遅かったが空港ロビーで直ちに帰国歓迎会をおこなった。

帰国歓迎会は、宮田常任幹事（編集局長・事務局次長）の司会によって進められ、初めに奥田吉郎幹事長の歓迎の辞があり、つづいて友好団体を代表して白河忠一郎（世界青協）の歓迎のことば、次に派遣団員の家族を代表して、大阪から出迎えに来た井上利一氏（井上都司子さんのご父親）からの謝辞、派遣団員を代表して真武信幸団長（福岡県連相談役）が帰国報告と謝辞を述べ、最後に田中光治（都青協理事長）の音頭で万才を三唱し歓迎会を終えた。

その後団員と家族は、本部でチャーターしたバスに乗車して宿舎の上野の見明院に向かった。真黒に日焼けした団員は、帰国第一夜の日本の寒さに驚きながらも、帰国の興奮に深夜一時近くまで語り合い、遅く眠りについたのは三時近くになっていた。

翌日は、午前七時三十分起床、洗面と朝食を慌ゃかに終り、八時三十分には、帰国挨拶のため奥田幹事長と共に見明院を出発した。午前九時十五分外務省情報文化局において帰国報告、午前十時文部省社会教育課長に同じく報告、その後中青協深見事務局長に報告し、細かい質問に真武団長の答えも元気であった。マラヤ大使館においても現地で世話になった挨拶や、現地の話題に団員の声も元気にはずんでいた。正午には音羽の会長邸を訪問して、陽射しも春を思わせる庭園において、鳩山会長に全日程の詳細な報告が真武団長よりなされた。

午後一時見明院において解団式をおこなった。各国での好意ある歓迎と贈りものに、報告を聞くものも心暖まる感銘を受け、歓迎会に移った時には共に団の一員であったような笑いさえあった。午後三時三十分解散した。

【写真説明】上は鳩山会長に帰国の挨拶と報告をする使節団員，下は友聯社より贈られたペナントを真武団長から奥田幹事長に引きつぐ

川崎副会長も帰国
キャンプの成果土産に

友愛国際使節団と各地で行を共にし、訪問各国首脳と会見して側面的に非常なお世話をさった川崎秀二副会長は「世界青少年キャンプ」の意向打診などの成果も収めて三月二十一日羽田空港に帰国された。

川崎副会長は二月二十日羽田空港発で出発、香港、ヴェトナム、タイ、マラヤ、シンガポール、インドネシヤ、フイリッピン、台湾の八ヵ国を歴訪、友愛国際使節団の指導、アジア競技大会の視察、世界青少年キャンプに対する各国の意向打診とその打合せ、インドネシヤ、台湾のテレビ放送開始の指導と打合せなど多面にわたる精力的な活動をされてきたものである。

各訪問先では川崎先生の訪問を各紙とも一面トップにとりあげ、友愛の紹介と世界青少年キャンプ問題を大々的に報道、非常に歓迎をしているので予期以上の成果があがっている。この日羽田空港には報道関係者、スポーツ関係者、世界連邦日青協、尾崎記念館関係者はじめ本会から奥田幹事長、北川事務局長、早川、高野、宮田各常幹、一足先に帰国した使節団の在京団員など多数が出迎え、空港ロビーで盛大な歓迎会を催した。

写真は空港ロビーで花束を受ける川崎副会長

全国大会 提出議案を検討
臨時常任幹事会に於て

去る三月二十九日午後六時より本部事務所において、臨時常任幹事会が開かれた。

会議は宮崎常幹の議長によって進められ、初めに北川事務局長から一般事務報告、続いて各部門について担当者からの報告があり直ちに議事に入った。議事は、山口県連結成大会に宮川副会長と奥田幹事長を派遣、伊賀上野市の日鵬会館翌工志に奥田幹事長と北川事務局長を派遣、北陸地方組織等及び連絡課の問題によって始められ君が代斉唱に引き続いて全般にたる経過報告が深見吉之助氏（中青協事務局長）からあり、次に関州班中南米班、米国班、東南アジア第一班、第二班、第三班の各国員から各々報告があって後団旗を返還した。その後、池田総理大臣に代って小平久雄内閣総務長官からの告辞、長谷川駿文部政務次官、日青協古屋鈴鹿事務局長の祝辞があり、次に派遣団員を代表して中島勝哲（群馬県）から謝辞を述べ、最後に写真、スライドの優秀作品各十一点の表彰をして解団式を終えた。

当日は会場前に表彰された写真とスライドの展示もあり、華やかな解団式であった。本会からは、派遣団員の早川広中常任幹事（情報宣伝部長）田中亨（さの）君（鳥取地区）と奥田幹事長が出席をした。

36年度派遣の解団式

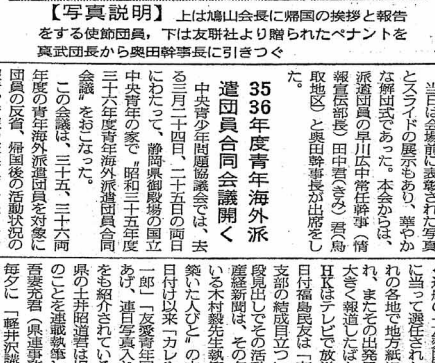
去る三月二十六日午後二時より総理官邸大ホールにおいて、中央青少年問題協議会主催による昭和三十六年度青年海外派遣団の解団式がおこなわれた。

解団式は、杉田徹仙氏（中青協理事）の司会によって始められ、青協古屋鈴鹿事務局長の祝辞があり、次に派遣団員を代表して中島勝哲（群馬県）から謝辞を述べ、最後に写真、スライドの優秀作品各十一点の表彰をして解団式を終えた。

35 36年度青年海外派遣団員合同会議開く

中央青少年問題協議会では、去る三月二十四日、二十五日の両日にわたって、静岡県御殿場の国立中央青年の家で〝昭和三十五年度三十六年度青年海外派遣団員合同会議〟をおこなった。

この会議は、三十五、三十六両年度の青年海外派遣団員を対象に団員の反省、帰国後の活動状況の報告、情報の交換及び今後の活動方針の討議等をおこない、地域活動の強化促進をはかる為に催されたもので、両年度に派遣された三一三名の団員と関係者三十名の計二五〇名が出席して実のある会議であった。



直言

◆いつのまにか梅が去り、音羽の本部事務所への急な坂道の両端には、今や桜が満開である。昔流で時代的な表現をすれば〝風習々として暖暖、淑気瀰々として姻の知々〟とでもいおうか、曖かい陽ざしを浴びて青空をのぞみ、思いきり深呼吸をすれば、何かこう身内から気宇広大な気持になる。まして友愛にとっての昨今は全国各地で報道・ニュースの脚光を浴びて来ているとなれば、春を迎える喜びもひとしおである。

◆過般の〝友愛国際使節団〟派遣に当って選抜された団員はそれぞれの各地で地方紙によって紹介され、またその出発風景は日刊紙が大きく報道したばかりでなく、NHKはテレビで放送した。二月四日付福島民友は「友愛青年同志会支部の結成同立つ」と初冠活字四段見出しでその活動内容を報道、産経新聞は、その夕刊に連載している木村繁先生執筆の〝大東亜を築いた人々〟の中で二月二十一日付け以来「カレルギー」「鳩山一郎」「友愛青年同志会」をとりあげ、連日写真入りで本会の行事をも紹介されている。かつて岡山県の上井昭道君は児島新聞に友愛のことを連載執筆したが、福島の菅妻充君（県連事務局長）は会津毎夕に「軽井沢講習会」の詳報〝平和の条件〟を連載、つづいて早川広中常任幹事が〝外遊記〟をのせている。

◆三月十日付産経新聞夕刊は〝友愛の早期道標墓参会――鳩山さんの四回忌――を写真入りで詳報、同日の午前十一時のニュースではNHK、日本テレビ、TBSなど各テレビがこの行事を電波にのせた。特に日本テレビは本会の要請を快諾して、当日の模様を一巻のフイルムに収め、記念として寄贈してくれた。やがて移動映画班がそれを映する映画の中にこれを加えて全国を回ってくれることであろう。

◆二月二十三日付読売新聞は「平和を確保する道」と題しカレルギーの二書著を紹介、和歌森太郎氏が六冊を使って解説された。三月六日付毎日新聞は、「友愛の高橋君東南アジアへ」を報道「直言子」が枚挙に困るほど本会の行事紹介が行なわれるようになった。

核停国民大会を開く

国民の声を世界に訴う

核兵器禁止平和建設国民会議で、四月九日午後五時半より「第五核保有国実現の阻止」「世界の世論で核停実現」「軍縮は先ず核停から」の大会スローガンがかかげられた日本青年館大ホールに約一二千名の国民を集めて「核兵器実験停止協定促進国民大会」を開催し、国民の意思結集をすることにより国際世論に強くアッピール、今次国際会議の成功を祈願した。

当日は自書部の渡辺秀雄君の司会によって大会を進行し、初めに松下正寿氏（核禁会議々長）から趣旨の表明があり、直ちに別稿得子の「核兵器実験停止協定」の成立促進に関する決議案を提出し、提案説明を日本青年会の末次一郎会長がおこない、その後「核兵器実験停止協定」の成立促進に関し政府に対する要請決議案を提出、引き続いて各界を代表して自民党の小川半次幹事組織委員長、民社党の曽弥益書記長をはじめ財界政界、業者、婦人、青年、被爆者等が両決議案に賛意表明の意見を発表して採択した。以上で同大会の目標を終了し午後七時半過ぎに閉会した。

われわれは真に世界の平和を念願して、すべての核兵器の実験が停止され、実験禁止の協定が速やかに成立するよう訴えつづけてきた。これは、とりもなおさず、世界の人々に放射能による被害を与えるのを防ぐ為であり、また、核実験競争の悪循環のもとを正し、さらにそれは新たな核保有国を実現させない為であった。しかも今日ではジュネーブにおける核兵器実験停止協定に関する話し合いもその成果に不安なものを抱かせる。

われわれは、ここに日本国民の総意を結集して、関係諸国に対し、

一、核兵器を保有する諸国は、実験停止が世界平和の確立に果たす偉大なる役割りを再確認し互に相ゆずってすべての障害を克服し、必要最少限度に有効なる管理、査察を伴う停止協定の成立のために全力を尽くし、その為に必要とあれば問題の急速解決を図るために、関係各国の首脳会談が速かに開かれるべきである。

二、ジュネーブにおける十八ヵ国軍縮会議は、核兵器の実験停止こそが軍縮のもっとも重要な第一歩である意義に鑑み、すべてに先立ってまず協定成立のために全力を尽すべきである。

三、以上のような努力が継続されている間、如何なる国も絶対に実験を停止すべきであることを強く要求する。

右決議する。

昭和三十七年四月九日

核兵器実験停止協定促進国民大会

核兵器実験停止協定決議文（骨子）

沖縄問題を話し合う

四月五日午後二時半より赤坂のプリンスホテルに総理府総務長官小平久雄氏を招いて沖縄問題についての話し合う会が開かれた。

当日は学習院大の安部能成氏、評論家の御手洗辰雄氏など多数の名士が参加し、先般ケネディ大統領によって発表された、アメリカの沖縄に対する新政策をめぐって注目すべき積極的な発言があり、中谷武世氏（アジア外交懇談会）は鋭く施政権返還を迫る意見を述べられた。然し、大勢としては極力を、五月から八日までの四日間池袋駅東口前に、東京都選挙管理委員会、本部役員が延四十名参加して多大の成果を挙げた。

（参加者氏名は敬称略）

清水幸重（文京）永井勇（文京）島袋恒夫（高校生）飯塚祥太郎（早大）渡辺邦雄（日大）飯塚書次郎（慶応）佐野克徳（東洋大）佐野鷹見（法大）奥田吉郎（幹事長）北川登（事務局長）蓮見和良（常任幹事）高野政利（常任幹事）八木宏之（学生対策部長）中根久子（都連）高山カスエ（日大）寺田久雄（日大）川上記世子（事務局）五十嵐

核停街頭署名を実施

核兵器禁止平和建設国民会議で、去る四月二日から八日までの一週間にわたって、都内主要地域五ヵ所で"核兵器実験停止協定促進"のための街頭署名などに資金カンパを実施した。

これには本会からも積極的に協

東京駅八重洲口、日本橋、銀座、渋谷、新宿の五ヵ所で実施した。

なお、今回の署名は、一人で何枚でもよいとの方式であったが、一人で数枚署名した人が多かったようである。本会からは八木幹事が出席したが、次回は四月中旬頃開かれる予定。

東南アジア訪問記録

YMCAの大歓迎に感激

友愛国際使節団（団長真武信幸＝福岡県連）一行十六名は、本紙先月号で紹介したとおり二月十二日午後零時二十分、横浜港南桟橋よりオランダ船チャンカン号で三百名に及ぶ見送りの声援を後に出発した。十六日、神戸港に寄港中大阪YMCA支部（支部長山崎勝己君）会員が見送りのため来船されたことは、日本より離れるにあたり感無量であった。以降二月二十八日までの船中生活は団長会議により規則正しく送った。概要次のとおり。

六時半　起床
七時　体操（担当八木、磯部両君）
八時　朝食
八時半　班長会議
九時　講習会
十時半　英会話又はマラヤ語
十二時　昼食
一時　講習会又は英会話
三時　歌唱指導（担当八木君）又は自由時間
五時　夕食、入浴
七時　懇親会又は自由時間
十時　就寝

原則として以上のことを基にしたが、事務長の招待、友愛船祭り船中見学などが別にもたれた。特に英会話は、同乗のオルバート夫人に依頼して会員発じく学ぶことができた。

【香港】

二十一日早朝香港に入港し手続き後上陸し、直ぐ日本総領事官を訪れると川崎副会長会ったが事前に連絡をとっていたのいたので使節団は真に幸運であった。高島領事より現地事情についての説明を受けたためその概要をつかんで行動できた。ここは九竜半島にある"友愛本社"を訪問してその交流を深めることにあったのでも友愛出版社として表明している。然し実際活動は各階層別に思想的面からの出版活動と学生を対象として合宿による講習会などその活動範囲は多様であった。本社では始めとして研究所、印刷所をもち独立会計で運営しているとのこと。

二十六日は船中で友達になった香港の関係者に案内して頂き香港島の観光をした。昼食をとった水上レストラン海角皇宮の食事は会員感歎するところであった。

【マラヤ連邦・シンガポール】

二月二十八日午前中シンガポール港に入港したが、MACC（マラヤ青年会連盟）にてペナン島からの日程を組まれていたので、先にバンコック、クアラルンプール経由でシンガポールにきておられた川崎副会長と日本人クラブで打合せをし夕食を共にし午後十時発の夜行列車でクアラルンプール経由で二月二日ペナンでの日程が開始された。

ゴム貿易協会の宿泊所を宿舎にして、二日は水産学校の視察をして夜シュルタン青年クラブ主催のレセプションがジュルタン英語学校講堂で催され現地の料理を提供してくれ使節団は会員紹介を重ねて歌と踊りを行い、現地青年との親交を深めた。

翌日はペナン島の観光を青年団体の案内で行った。夜ペナン第一の繁華街ウエ・ケア広場の食事を果して三月十八日午後国じ、管理の職に復帰した。留守中は真武氏人が示ステルペアレントとして立派な機能の役を評価。

◇軽井沢友愛山荘は三月十五日に閉鎖し大掃除に入ったが、昨年四月一日からの宿泊者総数は延六千九十名と昨年度より四百三十九名少ない。これは予約の無断解約によることが多く、その対策が今年は徹底があった。収益も今年は増加率は同一、目を見張るものがあるが、山なす状況を見ながら嘆くに言をかしげている。

◇目下インドの各地を旅行中の高橋義雄君（尾道友愛山荘ホステルペアレント）から元気な第一報が届いた。インド農業青年連盟の案内で、青少年関係の施設を見学、特にその運営に学ぶべき点があったとのこと。帰国後の活躍が期待される。

◇磐梯友愛山荘の建設は、雪解けと共に具体化するが、地元の本会福島県連では、四月一日に県連大会を開き、完成後の山荘利用行事までもっかり決めた。蔭に声あり——エイプリル・フールにならねばよいが……。——

球団だより

◇友愛山荘建設募金御芳名（三月度）協和醗酵工業、日本海事検定協会、ビーエスサイクル販売、日本経済新聞、日本精工、ラジオ関東、東海電機製造、三菱化成工業、文明堂、ブリヂストン液化ガス、三井石油化学工業、日本海事協会、ビーエスタイヤセールス、藤田組、国際興業、日刊工業新聞、宮本義男、新日本観光、東都製薬、三菱造船、新三菱重工業（敬称略、順不同）

◇青振友愛山荘の管理主事真武信幸氏は友愛国際使節団々長の大任を果して三月十八日帰国し、管理の職に復帰した。留守中は真武氏人が示ステルペアレントとして立派な機能の役を評価。

◇軽井沢友愛山荘は三月十五日に閉鎖し大掃除に入ったが、昨年四月一日からの宿泊者総数は延六千九十名と昨年度より四百三十九名少ない。これは予約の無断解約によることが多く、その対策が今年は徹底があった。収益も今年は増加率は同一、目を見張るものがあるが、山なす状況を見ながら嘆くに言をかしげている。

◇目下インドの各地を旅行中の高橋義雄君（尾道友愛山荘ホステルペアレント）から元気な第一報が届いた。インド農業青年連盟の案内で、青少年関係の施設を見学、特にその運営に学ぶべき点があったとのこと。帰国後の活躍が期待される。

◇磐梯友愛山荘の建設は、雪解けと共に具体化するが、地元の本会福島県連では、四月一日に県連大会を開き、完成後の山荘利用行事までもっかり決めた。蔭に声あり——エイプリル・フールにならねばよいが……。——

【写真はマラッカ市のハリー・ラヤ祭に招待されて交歓をする一行】

世界青年祭　日本代表募集

世界各国の民主的青年を集めて開かれる「世界青年祭」は、七月五日より十日間、デンマークのコペンハーゲンで行われる。

世界青年祭は、国際社会主義青年同盟（IYSY）の主催による集会であり、すでにわが国では、全労青婦を中心として、世界青年祭日本実行委員会が組織され、約目名の青年代表の派遣が見込まれている。

本会も、中青連を通じて実行委員会に参加しているが、この程連絡が届いたので左記要項にて希望者を応募する。

記

名称　世界青年祭
期日　七月五日から十日間
場所　コペンハーゲン
経費　三千五万
往復旅費及び欧州旅行費
滞在費は主催者負担

年令　三十五才以下の男女
〆切　五月三日まで

希望者は、履歴書（ペン横書）一通、戸籍抄本一通、写真五枚、並びに県連または支部、地区責任者の推せん状をつけて本部に提出のこと。決定次第本人宛連絡する。

【ベンコック市】

スワンスワナガ師範学校を訪問する唯一の公式日程なので制限なく気持で過ごすことができた。一行は御上席の極光を贈りなごやかな交歓を行い親光に移った。寺々の意厳さはもとより僧職にある男子の戒律の厳しさには驚くものがあった。青年団体は活発でないので一行は特に個々の目的のため視察した。

【サイゴン市】

青年総局の訪問と青年団体の調査を使命として訪問した。到着後直ぐ連絡をとり青年総局を始めとして共和青年団（最も大きい団体）と交歓をすることができその収穫は大きかった。国情とほいえ青年会員の研修は、軍隊で行う練習を小規模に上位のものを行っていた。銃の組立、実弾射撃を見学—その規律正しいことはベトコンに対する青年の気持がここに表われていたと思う。特にヴェトナムは大学に行かぬものは、兵役の義務があるとのことで日本と同じく学生は入学試験のために一心に勉強するそうである。

大使館を始め諸機関にあった跡を見学したが、何か心寒さを感じた。

青年団体の現況を調査することができ非常な成果を挙げることができた。

【マニラ市】

諸注意を再認識しつつマニラに降りた一行は三度御会いする川崎副会長の待たれる大使公邸に直ちに向った。先生は同夜九時台北に向かわれるとのことで充分話もできなかったが、YAAPの代表と共に楽しい一刻を過ごすことができた。

翌日、観光の日程がYAAPで作成されていたのでケソン市を始めリサール記念塔、古城跡などを視察し、東洋大学で昼食をとり、学校見学を行ったが、約半日にわたる青年団体代表との話し合いにフィリッピンの青年運動を知ることができた。

今回の派遣により訪問国の青年運動の実情を調査することができたこと、又全員無事に帰国できたことは一大成果であったと思う。友愛青年同志会会員が東南アジア各国の青年と交歓する基を造ったことを報告に簡単ではあるが報告記としたい。

（蓮見和良記）

銀座松屋は流行の出発点
TEL（561）3111・4111
銀座松屋

9都に共通
大丸の商品券
東京・大阪・京都・神戸・博多・下関
鳥取・別子・高知の各大丸に共通
東京駅八重洲口
大丸
電代（231）8011

大成建設
東京中央区銀座
561
9511

かぶれしっしんが
内部からなおる
グリチロン錠
ミノファーゲン製薬　東京都新宿区内

規約集

友愛青年同志会綱領

一、われらは、自らの尊厳にめざめ相互の人格を尊重し、健全明朗な友愛社会の実現に邁進する

一、われらは民主々義の健全な発展のために全体主義を排除し、日本国民として公正な識見を確立する

一、われらは、科学技術の振興と生産の増強をはかり、健康で文化的な福祉国家の建設に挺進する

一、われらは、全世界の人間的つながりのもとに国際連帯の意識を養い、もって世界平和と人類の福祉に寄与する。

会則

第一章　総則

第一条　本会は友愛青年同志会と称する。

第二条　本会は本部を東京都に置く。本会は必要に応じ、地域別または学校別に支部を設けることができる。支部に関する細則は別に定める。

第二章　目的及び事業

第三条　本会は友愛精神を基調として青年の団結を図り、政治経済・社会および文化の全面にわたって公平なる識見を博めるとともに、青年の学識および社会活動を援護して、共助共存の実を挙げ、健全明朗なる民主社会の実現と自主独立の文化国家の建設に挺進することを目的とする。

第四条　本会は前条目的達成のため、左の事業をおこなう。

友愛精神及び民主思想の啓蒙。社会福祉と厚生文化を基本とする新生活運動の展開、世論調査並びに青年運動に関する資料の調査。

青年の学究および社会活動に対する援護協力。

国際親善に資する青年運動。講演会、公聴会、討論会、その他各種催物の開催。

機関紙および各種刊行物の編集刊行。

その他本会の目的達成のために必要なる事業。

第三章　会員

第五条　本会の趣旨に賛同し、会則を守る満女青年をもって会員とする。新しい入会者は、定められた入会申込書に所定の事項を記入の上、入会金及び会費を申込むものとする。

第六条　会員は本会の刊行する機関紙の配布及び各種刊行物の特別配布を受け、本会主催の各種催物に参加できるほか、学究並びに社会生活の援護その他種々の特典が与えられる。

第七条　会員の統制保持に関しては、細則をもって別にこれを定める。

統制委員会は常任幹事、幹事、一般会員若干名を以って構成し、委員は大会において選出する。

第八条　会員たる学生は、学生部会を構成することができる。

第四章　役員及び機関

第一節　役員

第九条　本会の役員は、会長一名、副会長二名、幹事長一名、常任幹事（経理一名を含む）及び幹事若干名、事務局長一名、監査二名、統制委員若干名とし大会において選出する。

第十条　本会に名誉役員を置くことができる。

第十一条　役員の任期は、大会終了の日より翌年次大会終了の日迄とし、再任を妨げない。任期満了以前に欠員を生じた時は常任幹事会で協議の上、会員がこれを委嘱する。補欠役員の任期は、前任者の残任期間とする。

第十二条　会長は本会の会務を総理し、本会を代表する。

第十三条　副会長は会長を補佐し会長に事故あるときはその職務を代理する。

第十四条　幹事長は常任幹事会を統轄し、幹事会を招集する。

第十五条　本会に大会、常任幹事会、幹事会を置く。

第十六条　大会は会員の招集に基き、会代表の過半数の出席により成立し、本会の基本的事項を審議決定する。大会は大会議事規則による。

第十七条　幹事会は大会において選出された幹事長、幹事及び本部役員をもって構成し、その過半数の出席により成立し、大会の決定に基き、本会の具体的事項につき審議決定する。

第十八条　常任幹事会は大会において選出された幹事長及び常任幹事若干名をもって構成し、その三分の二の出席をもって成立し、本会の運営に関し責任を負う。但し緊急やむをえない時は、重要事項に関する決議権をもつことができる。

第十九条　本会に次の各部におき各部長はこれを分掌しその責任を負う。但し必要に応じ特別委員会を設置することができる。

(一)総務部　(二)組織部　(三)情報宣伝部　(四)文化部　(五)学生対策部　(六)婦人対策部　(七)地方対策部　(八)国際部　(九)経理部

第二十条　本会に事務局を置き、各機関から委ねられた事項及び常任幹事会と密接なる協議の上本会の事務一切をおこなう。

第二十一条　事務局長は別に定める細則によって事務局を運営し、本会の事業について年次報告を大会に提出する。

第二十二条　本会に編集局をおき毎月機関紙「友愛」を編集発行する。編集局長は常任幹事会において選出する。編集局の細則は内規をもって別に定める。

第二十三条　中央教育指導部は常任幹事及び青年の指導者たりうる学識経験者をもって構成し、常任会員の指導及び本会の理想基本的方策を立案審議する。部長及び学識経験者は、常任幹事会において選出する。

第三節　会友

第二十三条　本会の趣旨に賛同し本会々員と同じく友愛運動に参加できる成年にして、会員又は会友二名以上の紹介ある者をもって会友とする。

会友は会費年額五百円を納入する。

第二十四条　会友は本会が主催するすべての行事に参加することができる。但し本会機関における議決権を有しない。

第四章　賛助会員

第二十五条　本会の運動に対して援助協力する者で、本部または支部の推薦もしくは承認を経て賛助会員となり、賛助会を構成する。賛助会員は賛助会費（一口三〇〇〇円）一口以上を納入する。

第五章　組織

第一節　支部

第二十六条　組織の基本を支部とし、同一支区町村及び学校を単位として会員二十名以上をもって構成する。これにみたない場合は地区または班と称する。

第二十七条　支部設立に際しては会員及び役員を選挙並びに支部規約に会費をそえて、常任幹事会に提出しその承認を経なければならない。支部規約は別に定める支部規約準則によらなければならない。

第二節　支部連合会

第二十八条　同一都道府県内に二個以上の支部がある時は、支部連合会を組織する。

第二十九条　支部連合会は、所属支部役員の住所氏名事務所を常任幹事会に報告し、その承認を受けなければならない。その承認を受けなければならない。支部連合会規約は第二十四条に準ずる。

第六章　会計

第三十条　会費は会員一名年額二百円とし、二期（四月、九月）にわけ支部より本部に納入する。

支部費は支部が定める。

第三十一条　本会の会計年度は、毎年四月一日に始まり翌年三月三十一日に終る。会計細則は別に定める。

会計細則

第一条　本会会計の財源は左のものをもって充当する。

(1)会員の入会金、会費及び賛助会員会費。

(2)寄付金、但しその受額は常任幹事会の承認を必要とする。

(3)臨時会費資金、カンパ借入金、事業収益及び雑収入。

第二条　本会会部費は会員一名年額二百円と二期に分けて本部に納入する。但し必要止むを得ない場合は幹事会の議決を経て臨時会費を徴収することができる。

支部費は支部が定める。賛助会費は一口一、〇〇〇円とする。

第三条　会計の責任者は常任幹事の中一名をこれにあてる。

第四条　会計年度は毎年四月一日に始まり翌年三月三十一日をもって終る。

会計は毎会計年度に会計報告書を作成して会計監査を受け且つ大会に公表しなければならない。

第七章　付則

第三十二条　会の綱領及び会則の改正は、大会出席代表の三分の二以上の賛成を得なければこれを決めることはできない。

第三十三条　本会則の施行については、大会で通過した時から効力を生じる。

第三十四条　会の資産の管理処分に関しては常任幹事会の議決を経て会長がこれを行う。

第三十五条　委員会は、小委員を設けることができる。但し自己の発意に基いて新しい項目を提出することはできない。

第三十六条　規約に関する決定は出席且つ投票する委員の三分の二の多数決で行われる。その他の委員会の決定は、単純多数決で行なう。

第三十七条　常任幹事及び事務局長は、すべての委員会に出席して意見を述べることができる。

第三十八条　経費のともなう項目については、財政の付議された委員会の報告があるまで、大会はその議題に対する表決を行ってはならない。

第十章　記録保存

第三十九条　会議の記録は、事務局長がこれを保存し、大会終了後全部に配布する。支部はこれを保存しなければならない。

第十一章　修正

第四十条　この議事手続きは、大会の二分の二の多数決で修正することができる。

第十二章　附則

第四十一条　本会議事規則は、制定の日より即日効力を発する。

議事規則

第一章　会期及び解散

第一条　年次大会は原則として、毎年春季に会期として開催される。

第二条　臨時総会は支部総数三分の二以上の要求により、又は会長必要と認めた時、常任幹事会と協議の上会長これを招集する。

第三条　開催地は原則として東京とし、大会の決定により、他の地において開催することができる。

第四条　大会は会長の招集に基き、その通告は開会五十日前迄に事務局長がおこなう。

第二章　議事日程

第五条　年次大会及び臨時大会の議題は、事務局及び熟議部が作成し開催通告と共に通告する。

第六条　すべての支部は議題を提出することができる。議題は提案理由を添え、大会開催二十日前までに提出しなければならない。

第七条　各代表は大会開催前日迄に議題追加を事務局長に提出することができる。この追加議題を審議するかどうかは、大会運営委員会で決定する。

第八条　議題は大会会場中に出席代表過半数の賛成により修正できる。

第三章　代表

第九条　大会は本部役員及び支部代表をもって構成する。

第十条　各支部は代表二名以内を会議に出席させることができる代表選出基準要項は毎年本部において定める。

第十一条　代表は代表たることを証明する所定の形式要件を具備せる文書を、開催二十日前迄に事務局に提出しなければならない。この文書の届出なき代表については、大会議長は資格審査委員において審査せしめ、その結果を大会に報告し決定する。

第十二条　すべて会議に委任を認める。この委任は、所定の文書を以って議長に届出なければならない。

第四章　議長及び副議長

第十三条　大会が新たに議長を選任する迄、仮議長が会議を進行する。

第十四条　大会に議長一名、副議長二名を選出し、大会開会迄存在せしめる。

第十五条　議長は議事の完全なる統制権を保有する。議長は大会の開会閉会を宣言し、本会議の討議を指導し、本議事規則の遵守を確保し発言権を与え決議をとり、且つ決定を宣言する。

第五章　資格審査委員会及び運営委員会

第十六条　資格審査委員会は各ブロック及び本部より選出する若干名の資格審査委員よりなり届出のあった代表に対し、その資格を審査する。

第十七条　運営委員会は各ブロック及び本部より選任する若干名の運営委員よりなり、大会の運営に関する一切の業務を実施する。

第十八条　運営委員会は、大会議長の権限内の業務執行を援助する。

第十九条　議題追加を提出した支部代表は、それが審査される運営委員会に出席できるが、その表決については参与できない。

第六章　議事進行

第二十条　大会の定数は、各代表の過半数とする。

第二十一条　発言の順序は、議長の許可を得た順序に従う。その発言が、討議中の問題から外れた場合は議長はそれを中止させることができる。

第二十二条　如何なる問題についても、緊急動議を出すことができ、賛成反対各一名の討論の後直ちにそれを採決される。

第二十三条　議長は発言の時間を制限することができる。大会が討議終了を宣言しなければならない。

第二十四条　会議は原則として公開とし、出席代表三分の二以上の要求ある時は、秘密会議を行い得る。

第七章　表決

第二十五条　各代表は各一票の投票権を有する。

第二十六条　規約に関する委員会の採決は三分の二以上、他は単純多数決をもって決定する。原則として、大会の表決は過半数とし可否同数の場合は議長の決するところによる。

第二十七条　採決は、挙手又は起立をもって実施する。出席代表三分の二以上の要求あるいは賛成ある時は秘密投票を行う。

第八章　役員の選挙

第二十八条　大会は、会長二名、副会長二名、幹事長一名、常任幹事及び幹事若干名、事務局長一名及び監査二名、統制委員若干名を選出する。

第二十九条　役員を不適当と認めた場合は、本規則第一章及び第二章により直ちに臨時総会を開き、三分の二以上の賛成によって改選することができる。但し会員第三者による場合を除く。

第三十条　各役員の選出要項は、本部において作成し、本規則第九章による委員会において審議されなければならない。

第九章　委員会

第三十一条　大会の常任委員会は第一、第二、第三の三分科委員会とする。他に大会が必要と認めた場合は、別に委員会を設置し得るものとする。

第三十二条　各代表団は、各委員会に一名の委員を代表して出席させることができる。

第三十三条　各委員会の定数は十名とする。

第三十四条　委員会は、その委員長、副委員長及び報告者を互選する。

第三十五条　会の綱領及び会則の改正は、大会出席代表の三分の二以上の賛成を得なければこれを決めることはできない。

第三十六条　本会則の施行については、大会で通過した時から効力を生じる。

友愛の歌

一

雲ひらき　朝日はのぼる
若き命の　そよぎ
正しき力　みたせ
満ちてあふるる　友愛
ほほえみかわす　わが同志

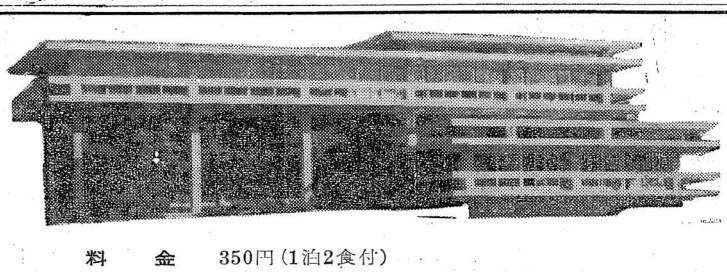
二

よもの海　うちよせ
つなぐ
若き心は　ひとつ
嶺き友愛の　ちぎり
波風に　胸たき
平和を守る　わが同志
花よ咲け　友愛の花
若き我等の　のぞみ
ふくらふとうの　進化
心も物も　ゆたかに
みのり楽しむ　わが同志
みよとわに　星は輝く
ああ　大宇宙の姿
われ人と共に　自由
万有　友愛の世界
高き理想へ　わが同志

三

四

尾道友愛山荘
年中開設



料金　350円（1泊2食付）
収容人員　100名
申込先
・広島県尾道市千光寺公園内　尾道友愛山荘　TEL（尾道）5554
・東京都文京区音羽町7の10　日本友愛青年協会　TEL（941）2801

第9回友愛青年同志会全国大会本部提出議案

第一号議案
昭和三十七年度運動方針並びに事業計画について

情勢分析—省略—

運動方針

一、カレルギー伯の思想及び政治に対する態度

カレルギー伯が各国一ロッパの統一思想を発表したのは一九二一年のことであり、その後、「汎ヨーロッパ」の機関誌を発行し、カレルギー伯の思想の啓蒙とともに、各国の同志の組織化を図ってきた。

カレルギー伯の思想の発展をはかるキーパンの思想を紹介し、カレルギー伯の思想を紹介しつゝ、

(1) カレルギー伯の本質の解釈は次の通りであるがこの点に於ては、自由ヨーロッパ、ヨーロッパ国民、ヨーロッパ国民、ヨーロッパ国民

友愛論壇

友愛の一年を省りみる
―第九回全国大会によせて―

中央教育指導部長　深津栄一

今月号の友愛論壇は、深津栄一中央教育指導部長の執筆を願い、本会の進むべき基本線ともいうべきものを明確にしていただいた。

時期的にも第九回全国大会を真近にひかえており、来年度の方向を定める上に、貴重な論文であろうと思われる。全国の会員諸兄姉は、この点に重きをおいて、自己のもう一度友愛に対する考え方、あるいは自分の従来の活動を振り返って、今後の方向を定め、または反省するための糧としていただきたい。それがこれまでの実績を生かす源となれば幸である。

昨年度の運動方針がいま私の机上にある。

それを、いま読みなおしてみると、はっと胸をつかれるような思いがする。それは「ある運動方針の第二に位置する「社会教育活動の充実」と第三の「社会福祉活動の展開」についてである。友愛運動の第一線をしりぞいて久しい私自身の現在から見ると、昨年度もっとも「なおさら」にされたのは、この二つではなかったかと思われる。

たしかに「金」は大きくなっている。組織も充実している、財政規模も大きくなっている。事務局のスタッフもふえた。しかし運動方針がかようなものであるにもかかわらず、会の方向は、大きく対外的な方向に、むしろ「花々しく」展開している。卒直に言わせてもらうならば、花々しく展開しすぎている。わたくしは、決して海外交流の進展を批判しているわけではなければ、他の青年団体との交流――現状はむしろ交渉――を否定しているわけでもない。核武装反対運動への参加やいろいろな集会に出るのも大いに結構である。しかし大会で採択された運動方針も、たまには見てもらいたいように思う。

「社会教育会館の建設」「勤労青少年教育の充実」「青少年団体の交流てけい」――これにはとくに地方における交流である――「機械的な少年指導」――少年の非行化が問題となっている――等等といった方針は、「花々しい」もののかげで余り目立っていないのかもしれぬが、実際も目立っていないわけではないかもしれない。少なくとも私にはそのように思われる。

しかし、重要なことは、それらこと会の組織を支える活動そのものだということである。例えば、非行少年の問題であるが、調査による近年少年犯罪は、飛躍的に増加し、とくに二十五歳未満の者の犯罪は、全体の半分以上になっている。それらに対する実際的な対策として会はどのようなことを考えているのか。もし友愛青年同志会が、「青年団体」であるならこの問題を真剣に考える必要があるように思われる。また勤労青少年対策について、昨年度は何をしてきたか、私は説明を聞きたい。

私の、全国大会に出ることの最大の楽しみは、各地の支部や地区の活動内容は「国際交流」とか「他団体」との交渉に明げくれているわけでは決してない。むしろ私の知るかぎりでは地味な、目立たない活動」そが、それらの組織を支えているのだということが、ここ数年来の私の実感である。そして会員の願いは、わたくしどもの生活を如何によくし、そのまわりの村や町がよくなることであるそれを通して、国家もよくなるだろうけれども、まず大切なのは、自分であり仲間である。仲間とのつながりが、具体的な活動を通してより密接なものになることである。日本の農村は、いま転換期にある。（このことは三十六年度運動方針もそれを指摘している。農村政策の転換が要求されている現状において農村の会員は、恐らくなやんでいるにちがいない。中小企業にいる会員も、またいくかのなやみをもっているはずだ。そして彼等のなやみは、また、老壮年層と青年層との間にある考え方の差異にも由来することであるだろう。それらへの真摯な取り組みが方が、新年度の運動方針なり、大会の討議にあらわれることを、わたくしは小から期待している。

そのような問題のとらえ方、そしてそれに対しては一人だけではだめだという自覚、そしてそこから仲間との血のつながりの必要性がでてくる。このような地域的つながりが全国的にむすばれてはじめて、「全国組織」としての「青年団体」との会の存在となってくる。あたり前のことであるが中央の活動と本部だけが会ではない。地方の県連・支部の組織だけが会ではない。問題は、それらが各地で何をしてきたか、何を、いましているか、何を今後、何をすべきであるかである。

言葉が多少過ぎているようであるが、それは、会の発展をねがうからこそだと思っていただきたい。

【筆者は、日本大学講師・本会常任参与・中央教育指導部長】

友愛の図書案内

◇……昨年暮れから本年へかけて本会親善会長クーデンホーフ・カレルギー伯の著書が相ついで邦訳出版された。これらはいづれもカレルギー伯の……恩想を伝える名著で、訳者は本会にも関係の深い鹿島、深津の両先生。友愛を語り、友愛をすする者の必読の書を紹介しよう。……◇

鹿島守之助訳「パン・ヨーロッパ」

著者クーデンホーフがパン・ヨーロッパ運動を起したのは第一次大戦の終了後まもなく、今から四十年も前のことである。従ってその思想は著者自身未だ若冠二十九歳時のものであった。それにもかかわらずこの運動が異常なほどの広まりをみせ、欧州各国列強の主脳の支持を受けたのはパン・ヨーロッパの思想の目新しさばかりではない。著者はこの書を発表することによって、大戦によって荒廃し混乱した欧州政界の再編成を提案したばかりでなく、全ヨーロッパの平和の達成、ひいては世界の平和、世界の新秩序の建設を念願したのである。そして自らは、これを契機に今日にまで及ぶパン・ヨーロッパ運動に身を投じたのである。その意味からこの書は彼クーデンホーフの一生を決した著作となった。四十年を経てこの著の翻訳が再版されるに当り訳者鹿島守之助先生はその序文の中で「この名著について特に鳩山薫子夫人を会長にし、またクーデンホーフ伯を名誉会長とする友愛青年同志会が若い青年のうちに所望せられる向が多いことを喜いて、これを再版することに決めた」といっておられる。本会の会員にとっては何ともお礼のいいようのない嬉しいことである。（三八〇円）

鹿島守之助訳「ヨーロッパ国民」

第二次大戦後クーデンホーフ伯は、二つの世界の対立緊張を眼前にみて、ますますパン・ヨーロッパ運動の必要を痛感し、特に英国宰相チャーチルなどの支援に力を得、ヨーロッパ合衆国の建設に積極的になった。そして二次にわたった彼の思潮が結晶されたものが「ヨーロッパ国民」となった。著者はこの中で、ヨーロッパとアメリカの関係に意を注ぎ、特にその友好関係を条件とすることを強調している。同様にアジアのことにも言及し、印度、中国、日本を含む「パン・アジア」建設の意義を説いている。そして、こうした連邦制を土台とする以外に世界の平和秩序を保持する道はない。世界国家の繁栄は、単一の権力で統制する国家であってはならない。今日の人類文化の多様性、科学技術の進歩はそのような世界国家の実現を不可能にしているという。そしてこの書では、特にクーデンホーフのアッピールやベルリン問題についてのケネディ大統領宛のサテイスンヨンなど最近のものを附録として収録している。また訳者鹿島先生の論文「パン・アメリカ」「パン・ヨーロッパ運動」「ヨーロッパ連合論」が収録されているほか、序文ではクーデンホーフの母青山光子さんのことや父のことなど興味深い解説記事があって読者の関心と注意をひく。（三七〇円）

深瀬栄二訳「戦争から平和へ」

世界平和達成のためにはヨーロッパの連邦化を必要とすると説く著者は、然し地球上に「永遠の平和」を期待することは不可能だと断定する。つまり人類は本能的に戦争と平和とこうながら好むのだという。従って平和のぞむ人類の果てすべきことは、現存する〝平和の時期〟を可能ならかぎりひきのばす努力であり、そのためにはどうすればよいかという課題をこの著書の中で追求している。著者はこうして、世界歴史にみる主要な平和の時代についてその背景や条件の分析を試み、日本では徳川幕府の時代をとりあげている。訳者はいうまでもなく本会創立以来中央教育指導部長として本会を指導し、会員にも親しみが深いのであるが、特に著者とは二回にわたってスイスで面会し、この飜訳権を得ると共に直接その指導を受けてこられた。何ともせまカレルギー伯訪日の可能性が濃い今日、この名著は是非一読してもらいたいものである（三〇〇円）

―北川―

（註）発行所　鹿島研究所

中青連新役員決る
北川事務局長　常任委員に選ばれる

中央青少年団体連絡協議会第八回委員会は四月九日午後一時から YMCA同盟会館ロビーで開かれ昭和三十七年度事業計画、予算案新役員選出などを決定した。

役員の選出は加盟団体単位とし、記名投票を行なった結果、次のように決定した。

委員長＝日本ユースホステル協会　副委員長＝日協・青少年赤十字　常任委員＝友愛青年同志会、YMCA、農協青年部、ボーイスカウト監査＝全国郵便友の会、健青会　常任委員に選出された本会では北川事務局長（中青連委員）を同委員に充てることにした。

また、WAY世界大会の日本代表については次回の委員会で検討することになった。これには本会から原鳴発一君（幹事）を推薦している。なお委員会には本会から奥田、北川両委員が出席した。

栄養教室 12

低カロリー食について

「やせたいと思ったら、毎日食べる食事を減らしてカロリーを減らせば目的を達することができます。おなかがすいても食べないでいればいいのですが、あまりお腹がすきすぎると意気消沈して仕事は何も手につかなくなり、ついご飯やパン、お菓子をつまみぐいするようにもなりましょう。ところがご飯やパン、お菓子だけでは貧血になるなど何も食べないでいるよりも悪い結果を招きます。というのは絶対に間違いないというものが考えられました。いわば多量に摂れても蛋白質が不足し、ビタミンA・Cなどが全然とれないからです。

ですから「低カロリー食」としてはカロリーと無機質を十分に含んだものを食べなければなりません。このような意味をとり入れて、日常の食品を適度に組み合わせて、そういう献立を作り実行します。

例えば次のようなものです

朝　トーストパン半切　ゆで卵・コンソメスープ（にんにく酢塩・カニ缶）そえ小みかん・個　ミルク紅茶・ポ

昼　ふかしいも（一〇〇g）（中一本）ローストビーフとホーレン草浸し、みかん・個、牛乳一本

夕　ご飯（茶碗に軽く八分）

全部一緒にミキサーにかけて乾燥し粉にしたようなものです。その代表的なものが、アメリカで作られたメトリクルと称するもので日本でもボツボツ作られはじめています。

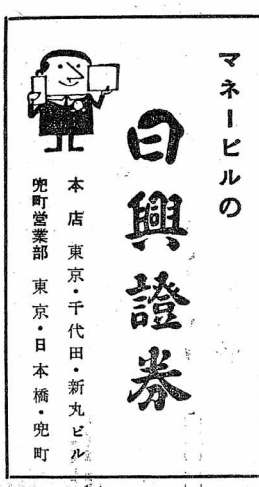
メトリクルは一日平均摂ると九〇〇Cal、蛋白質七〇g、脂肪一〇gを与えます。

「やせる」という目的を達するために、食生活をあまり大きく犠牲にしたくない人は前のような献立を実行すべきです。食生活は犠牲にしてもすし、食生活は犠牲にしてもいう人は、こういう特別食を利用するのもよいことになります。

【担当　川久保裕子・油野豊】

目的とご予算に合わせてお選び下さい
ヒノマル投資信託
オープン投資信託
債券オープン投資信託
割引債
公債・社債
スーパーストック
大和證券
東京・千代田・大手町
電話（231）661代表

みなさまの…証券貯蓄センター！
野村證券
本店　東京・日本橋通り1ノ1
支店　大阪安土町・名古屋広小路・福岡天神町・全国主要都市


マネービルの
日興證券
本店　東京・千代田・新丸ビル
兜町営業部　東京・日本橋・兜町

山一で証券のある生活を
山一證券
本店　東京都中央区日本橋兜町1の3
支店　全国主要都市

地方活動状況

山口県連の結成近し

宮川副会長の出席きまる

【山口発】山口支部を中心に準備を進めていた山口県連結成大会は来る四月二十九日午後一時から宇部市役所おこなわれることになった。山口県連は、かねてから山口支部、阿東支部、亀山支部（亀山高校卒業生を主体としたもの）宇部地区等が集って結成するため鋭意努力中であったが、当地方の組織普及のため未山した形常任幹事（地方対策部長）との打ち合わせによっていよよ具体化するところとなった。

【山口発】去る三月二十三日夜、折から来山中の尾形常任幹事（地方対策部長）は、宇部支部結成準備委員会の東田君、中板君と共に山口支部の清水支部長、多田事務局長と山口県連結成について懇談をした。

この打ち合わせの結果、来たる四月二十九日に県連を結成する」奥田幹事長に出席するよう本部に依頼をしたが、この依頼に対し、本部事務局よりこれを了承宮川副会長と奥田幹事長が出席する旨の連絡があった。これによって、地元県連結成準備に当たる関係者は四月二十九日に結成大会を開催するべく方針の策のもとに準備中である。

なお、結成大会に宮川副会長が出席するとの報で地元経済クラブ（理事長＝宮川副会長）からも、県連結成大会には多数出席し、同県連の今後に明かるい見通しが立つことになった。

となったが、なお最終的な決定は山口、阿東、亀山の各支部と宇部支部結成準備委員会の各代表が集って相談することになっている。とりあえず、尾形常任幹事は二十三日の懇談の結果に従って、同県連の結成大会については、地元の要請をくみれ宮川副会長と

移動映画 四国巡回

四国地方巡回移動文化映画班は、去る三月十九日午後九時東京発の瀬戸号で出発して、二十一日の香川県を最初として四国一帯を巡回した。

本会の移動文化映画班の巡回は、既に地方巡回十一回目という本会結成当初から実施されている事業である。映画班が本会の社会教育事業に尽くした功績は語り切れない程のものがあるといえよう。

今回の巡回は、中村勇一君（幹事）佐野克徳君（東洋大学）寺田久雄君（日本大学）の三名編成で実施したものであるが彼等の活躍振りを報告し諸兄姉の参考に供する。

◇三月十九日 車中

友愛国際使節団の帰国と前後して東京発午後九時"瀬戸号"宇野行きで、四国地方へは初の移動文化映画班の一行、中村（幹事）佐野（学生部）寺田（学生部）の三名は元気に出発した。使節団の帰国で一段と多忙を極める奥田幹事長、高野、富田両常任幹部の見送りを受け勇気百倍車中の人となったが、大学受験者の帰郷と加えて修学旅行生徒とも一緒になり車内満員御礼。まったく眠れたものでない。

◇三月二十日 香川県宇野より無事に海を渡り午前十一時五分高松に着いた。岸壁には、友愛国際使節団の帰国と前後して東京発午後九時"瀬戸号"宇野行きで、四国地方へは初の移動文化映画班の一行、中村（幹事）佐野（学生部）寺田（学生部）の三名は元気に出発した。使節団の帰国で一段と多忙を極める奥田幹事長、高野、富田両常任幹部の見送りを受け勇気百倍車中の人となったが、大学受験者の帰郷と加えて修学旅行生徒とも一緒になり車内満員御礼。まったく眠れたものでない。

◇三月二十日 香川県宇野より無事に海を渡り午前十一時五分高松に着いた。岸壁には、友愛国際使節団の帰国と前後して東京発午後九時"瀬戸号"宇野行きで、四国地方へは初の移動文化映画班の一行、中村（幹事）佐野（学生部）寺田（学生部）の三名は元気に出発した。使節団の帰国で一段と多忙を極める奥田幹事長、高野、富田両常任幹部の見送りを受け勇気百倍車中の人となったが、大学受験者の帰郷と加えて修学旅行生徒とも一緒になり車内満員御礼。まったく眠れたものでない。

◇三月二十日 香川県

地方だより

福島県連

春期定例大会を開く

規約改正新役員等を決定

【福島発】去る四月一日午後一時より福島県会津若松市公民館において、第二回友愛青年同志会福島県支部連合会大会が行われた。

当日は本部より早川忠中常任幹事、高野政利常任幹事、地元より秋田毎夕新聞社社長、二瓶湯川村長、他に新潟県連代、湯川、会津若松、坂下の各支部より会員六十余名が集り総出席者七十名にのぼる盛大な大会となった。

管野県連事務局長の司会で、矢部若松支部長の開会の宣言があり清水県連会長の挨拶、高野常幹の本部挨拶に続いて、来賓の祝辞では秋田日夕新聞社社長の友愛の機関紙たるやいつも無心な挨拶を受け、二瓶湯川村長は青少年問題に強い関心を示して正しい判断を養うようにとの挨拶があり、越地参与の挨拶が済んで議事にうつった議長に目黒信明君、副議長に大竹英吾君、稲垣茂吾が選ばれ、昭和三十七年度運動方針、事業計画、予算、規約改正、役員選出等案件に討議され、午後四時ではどうしても栄養士を必要とし、その初陣を迎わったわけである。そして、軽井沢の観光の最盛期で連日観光客の宿泊客が、この困苦を顧事のりこえたの食事を七月から九月の半頃まで、百人近くの料理をつくるということは精神的にも肉体的にも相当の重労働であったことと思う。両腰に対し湯川村長名で感謝状を理事長の手から渡されるであろうが、財団法人日本友愛青年協会ではその年の秋に開かれた理事会において、足跡を残してくれたものである。

その後油野さんは横浜市役所の下水浄化の試験所に勤務しているが、やはり栄養士としての仕事に未練が残るのか叔父さんの経営する病院の献立を手伝っている。

また川久保さんの方は、昭和産業の鶴見工場に勤務して同工場社員のお腹をあづけられている。そして一日に延べ二五〇食位の食事の世話をしている訳であるが、栄養士は彼女一人であるために献立、栄養価、単価等の計算、翌日の材料の注文等すべてをやらなければならず友愛山荘に引き続いて相当の苦労をしているようである。もっとも ここでは友愛山荘と違い料理まではしなくていいそうだが一人には共通点が多く、背丈体重、受ける感じから趣味がクラシック音楽であるところまで、一緒で、そのせいか職場が違ったなりでも週に一度位は会って お茶を飲んでいるという。二人共目下恋人を募集中である。

益々の活躍を祈って——。

人物ハイライト

昨年の五月以来、本紙の三面に掲載してきた栄養教室も、いよいよ今月号の十二回目をもって終ることとなった。この間を通して執筆をしていたのが両嬢である。

振り返って二人の本会との結びつきを紹介するならば、三年前に軽井沢友愛山荘が完成して開荘した三十四年の六月であった。つまり、軽井沢友愛山荘第一年目の栄養士として赴任してからである。それまでの友愛山荘は小規模なものだったので早川忠光、高野政利両君の手によって全て運営されていたのであるが、新装なった友愛山荘では、百人近くの料理をつくるということは精神的にも肉体的にも相当の重労働であったことと思う。この困苦を顧事のりこえたばかりでなく、二人の料理はユースホステルでは日本一であるとの折り紙をユース・ホステル協会からつけられたのであり、これは今から考えてみればまったく驚異的なことであり、今更これまで感謝せざるを得ない。

その結果としてはゴヘイが労に報いた。これは友愛青年協会の感謝状第一号であった。前記した通り、二人の料理の評判がよかったためその後文部省のユース・ホステル関係の本にも献立が掲載されるなど、友愛山荘にとってはまことに貴重な存在であるかもしれないが、財団法人日本友愛青年協会ではその年の秋に開かれた理事会において、両嬢に対し湯川村長名で感謝状を理事長の手から渡されるであろうが、財団法人日本友愛青年協会ではその年の秋に開かれた理事会において、足跡を残してくれたものである。

その後油野さんは横浜市役所の下水浄化の試験所に勤務しているが、やはり栄養士としての仕事に未練が残るのか叔父さんの経営する病院の献立を手伝っている。

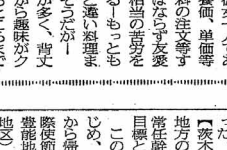
また川久保さんの方は、昭和産業の鶴見工場に勤務して同工場社員のお腹をあづけられている。そして一日に延べ二五〇食位の食事の世話をしている訳であるが、栄養士は彼女一人であるために献立、栄養価、単価等の計算、翌日の材料の注文等すべてをやらなければならず友愛山荘に引き続いて相当の苦労をしているようである。もっとも ここでは友愛山荘と違い料理まではしなくていいそうだが一人には共通点が多く、背丈体重、受ける感じから趣味がクラシック音楽であるところまで、一緒で、そのせいか職場が違ったなりでも週に一度位は会って お茶を飲んでいるという。二人共目下恋人を募集中である。

益々の活躍を祈って——。

今は試験管を振る　油野　豊　さん

軽井沢友愛山荘　料理日本一の立役者

今も栄養士として　川久保裕子さん



【写真は県連大会における議案審議の模様】

すべての議事を審議決定し、新役員の紹介の後、友愛の歌を斉唱して閉会した。

一　昭和三十七年度運動基本方針
二　友愛思想の普及
三　友愛福祉活動の充実を図る
四　農業基本法、中小企業基本法を巡る経済問題の解明と基本方向の設定
五　核兵器禁止平和運動の推進
六　組織の強化並びに新設支部への工作
七　参議院選挙をめぐる政治情勢の研究と公明選挙運動の推進
八　会員相互の研修並びに相互親睦を図る

昭和三十七年度役員

会長　清水　文矢（茨）
副会長　菊地　文矢（岩）
　　稲林　勲（福）
　　和田　光雲（坂）
参与　中沢　剛（岩）
　　越地　一男（北会）
　　小池　勝憲（会津）
　　渡辺　恒三（南会）
　　早川　広中（岩）
常任理事　蓮沼　明（坂）
理事　矢部　世司（岩）
　　目黒　信明（岩）
　　鈴木　善和（福）
　　山口　健（福）
　　二瓶　重喜（坂）
　　笹間　力夫（茨）
　　星　健夫（茨）
事務局長　吾妻　充（岩）
〃　次長　卯月　研造（茨）
会計　大川原庄考（茨）
会計監査　鈴木　武弘（福）
　　大竹　英彦（福）
　　鈴木　睦子（坂）
　　富樫　房子（岩）
注（茨）は猪苗代支部（岩）会津若松支部（福）湯川支部（坂）会津坂下支部（北会）北会津地区（会津）会津高田地区（南会）南会津地区
大会終了後午後五時より会場を高松に移し、会員四十余名が出席して懇親会をおこなった。
高野常幹の歌唱指導や、それぞれ特徴ある支部ののど自慢に拍手送り午後六時三十分、各支部会員は名残り を惜しみながら解散した。

大会に備え各支部で集会

【会津若松発】会津若松支部では、去る三月十五日午後六時より、神明通り商店連合会会議室において昭和三十七年度定期総会を開催し役員の改選事業計画、予算案等を審議決定した。

総会は吾妻充君を議長に進められ、はじめに三十六年度の事業経過報告を通して、支部活動の反省点についてこれまで問題とされていたサークル活動と定例会との調整について活発な討論がなされ、この結果、昭和三十七年度事業計画は、これを土台に（1）強力な友愛山荘早期完成のために積極的な協力をする（2）友愛啓蒙運動を通じての組織の拡充（3）社会奉仕への自覚的な活動から知的交流を深める方向へ進むことが確認された。

次に予算案を審議決定し、続いて新年度役員を次の通り選出して支部総会を終了した。

支部長　矢部　世司
副支部長　鈴木　滋夫
〃　富樫　房子
事務局長　目黒　信明
事務局次長　畠田　勝子
会計　畑　照二郎
〃　玉川　秋雄
会計監査　酒井　和枝
〃　梅宮　明子
県連理事　菊地　文夫
〃　広野喜太郎
矢野支部長談

今回皆さんの推薦により支部長に就いたしましたが、私は友愛に入会してまだ日も浅いので何も解らず、ひとえに先輩各位の御指導を仰ぐ次第です。

友愛の末端支部の理想は、下から盛り上る力で活動する状態であろうと思います。一日も早くそのような支部にしたいと考えております。

【広島発】中国学生部は、昨年九月結成以来基礎作りに重点を置いて活動してきたが、漸く次の段階に踏み出すことになり、その第一番目の行事として来たる四月十四日、十五日の二日間にわたって尾道愛媛山荘で中国ブロック学生研修会を実施することになった。

今回の研修会では、友愛思想に対する研究と、その討論を実践に移す方法等を中心に討論する予定であり、この結果によって、全国大会に臨む中国学生部の方針を打ち出すことにしている。

会津若松新体制のもとに

中国学生部では研修会を

【札幌発】札幌支部では、去る四月五日支部総会を開催して、第九回全国大会の代表者を決定した。

当日は、前記の全国大会代表者決定の他に、昭和三十六年度事業報告、決算報告等も併せておこない、三十六年度行事に終止符をうった。

【茨城発】去る四月九日夜、四国地方の組織普及に向っている尾形常任事を迎えて大阪府連結成を目標とする懇談会を開催した。

この会では茨城支部の役員をはじめ、去る三月十八日東南アジアから帰国した磯部政一君（友愛国際使節団）、丹生康成君（友愛国際地区）、小野君（高槻地区）等も出席して、各地区の支部結成と大阪府連結成の段取りについて打ち合わせをしたが、これによって、本会が懸案としていた大阪府連の結成にも、明るくい見通しがたつところとなった。

会員消息

◇川上記世子さん（財団法人日本友愛青年協会事務職員）去る四月一日午後一時より、東京中野の氷川神社で華燭の典を挙げた。

◇井上信雄君（大阪茨木支部事務局長）来た四月十五日、茨木市春日農協会館において、華燭の典を挙げる。

◇小島孝男君（本会参与）来たる四月十五日午後六時より東京の椿山荘で、華燭の典を挙げる。

◇小出擁一君（尾道支部相談役）尾道市西ノ会議所議員に就任。最年少議員として、尾道経済界で活躍中。

年表日誌

3/11　和歌山県連結成準備会（後一時・於市民会館）
12　核禁会議幹部会議（後六時・於国会いけだや）
高橋最官君訪印壮行会（後六時・於食良邸）
13　講演『欧における原水爆禁止運動』（済会館）
選挙法改正運動協議会実行委員会（正後・於日青館）
14　国際委任理事会（後五時半・於ちまち）
高橋最官君印度へ出発（後十二時半・羽田空港発）
15　第二回核禁国体代表者会議（後一時・於全織会館）
16　核禁会議幹部会議（後六時・於国会いけだや）
17　尾形常任幹事中国四国組織巡回に出発（前九時四分・東京発）
世界青少年キャンプ世話人会（後一時・於日青館）
18　部連お茶の会（前十時・於会長邸）
友愛国際使節団帰国（後十一時二十五分・羽田空港着）
19　日本婦人友の会和歌の集い（前十時・於会長邸）
移動文化映画班四国へ出発（後九時・東京発）
友愛国際使節団歓迎会及び解団式（後一時・於昌明院）
20　青少年指導者アカデミー懇談会（後一時・於都市センター）
21　川崎副会長帰国（後二時五十分・羽田空港着）
22　第十八回執行部会議（後一時・於本部）
「東南アジアの印象」懇談会（後一時・於尾崎記念館）
自動車工業P・R映画会（後一時・於ラスホール）
23　核禁（会議核停）小委員会（後二時・於日青館）
三十五・三十六年度青年海外派遣団員会議（前十一時・於日青館）
24　核禁（会議核停）小委員会（後二時・於日青館）
25　会津坂下支部結成大会
三十五年度政府海外派遣団の集い（後五時・於会長邸）
三十五・三十六年度青年海外派遣団員合同会議（前日より・於観光会館国立中央青年の家）
26　日本婦人友の会和歌の集い（前十時・於会長邸）
三十六年度青年海外派遣団解団式（後一時三十分・於総理官邸）
核禁会議幹部会議（後二時二十分・於核禁本部）
27　中央団体会報関係者懇談（正午・於虎の門共済会館）
28　第十二回常任幹事会（後六時・於本部）
29　第十二回常任幹事会（後六時・於本部）
31　核禁会議第二回団体代表者会議（前十時・於町村会館）
4/1　部連お茶の会（前十時・於会長邸）
2　国土を美しくする全国アピール（前十一時・於尾崎記念館）
3　事務局会議（前九時・於本部）
4　第十九回執行部会議（後一時・於本部）
5　文京友部結成打ち合わせ会（後七時・於根岸百永館）
7　早朝墓参会（前六時半・於谷中墓地）
選挙法改正運動協議会（正午・於日青館）
9　日本婦人友の会和歌の集い（前十時・於会長邸）
核兵器実験停止促進国民集会（後五時半・於日青館）
中青連第八十七回委員会（後一時・於YMCAロビー）
外派遣団員合同会議（前十一時・於観光会館国立中央青年の家）
◇小島孝男君（尾道支部相談役）尾道市西ノ会議所議員に就任。最年少議員として、尾道経済界で活躍中。

名誉会長　クーデンホーフ・カレルギー伯の著書相ついで出版

カレルギー伯著
鹿島守之助先生訳
パン・ヨーロッパ
欧州政局に奇蹟的波紋を画いた力伯の名著の再版
¥380

カレルギー伯著
深津栄一先生訳
戦争から平和へ
——平和のための条件——
¥300

カレルギー伯著
鹿島守之助先生訳
ヨーロッパ国民
¥370

付録
一、ヨーロッパ合衆国論　鹿島守之助
二、クーデンホーフの母　光子夫人
三、一九六一年の欧州——カレルギー

再版のことば　元四国総理天臣故鳩山一郎氏はカレルギーの思想に共鳴され「パン・ヨーロッパ」を読みたいとの希望があった。しかし当時この書は絶版で、これを再版しようかどうか迷っていた。これをその後、この名著について特に鳩山氏とお会いしたとき、またクーデンホーフ伯爵夫人を会長とする友愛青年同志会の若い青年のうちに所望せられる向が多いことをきいて、これを再版することに決した。

最近一度にわたってスイスにカレルギー伯を訪れ、直接その指導を受けてこられた深津先生（日本大学講師、本会中央教育指導部長）が、一年の歳月と魂魄をこめて訳されたカレルギー最近の名著。是非会員の愛読を乞う。

カレルギー伯著
鹿島研究所

戦時下学徒動員の実態をみる
あしおと
¥300

毎日新聞評「国の大事に殉ずるは一と歌われた十七才前後の記録は数少ないという意味で貴重であると同時に、今日の十七才の問題にも考えさせる遺産といえよう」

発行所　東京都港区芝宮山町四丁目十二番地
財団法人学徒動員援護会
電話（四〇二）四五五七

発行所　東京都港区芝田村町五の九（浜ゴムビル）
電話（501）8301　振替東京180883
鹿島研究所